

地産地消とにいがた野菜の未来④

「太い」「甘い」「柔らかい」

新発田の

アスパラは すごい!!

新発田市では、「食」と「農」の距離を近づけ

地域の活性化と食育、市民生活の向上を目指し

『食の循環によるまちづくり』に取り組んでいる。

その一環として平成19年から

『食のアスパラ横丁、味めぐり』を開催。

市内料理店を中心に趣向を凝らした

アイディア料理を提供している。

新潟県一の出荷量を誇り、全国でもアスパラガスの

一大生産地となった新発田市。

一般的にアスパラガスは、太いと硬いという

イメージをもたれがちだが、

新発田産のアスパラガスは

「太くても柔らかく、甘い」味わいが特徴だ。

今後はイメージキャラクター『アスパラくん』を活用して

地域特産ブランド野菜『アスパラガス』のすごさを

県内外へアピールする。



『アスパラくん』が目印

新発田市道賀地区の
アスパラガス団地

イメージキャラクター
『アスパラくん』



アスパラガス生産者
JA北越後
アスパラガス部会長
阿部 信夫さん

収穫には播種・定植後、一年を経なければならぬ。翌年四月、露地ですくすく伸びる萌芽を見たとき、阿部さんの全身は震えた。「これだ」。その後、収穫量が大幅に伸び、平成十四年にはJA北越後アスパラガス部会が『新発田市農業功労賞』を受賞。五年後には『食のまちづくり推進事業』に取り入れられ、平成二十二年、第四十回『日本農業賞(集団の部)』で新潟県最優秀賞を受賞した。

阿部さんが整備された同地区の水田にアスパラガスの株を植えたのは平成十一年のこと。それまで米に代わる園芸品種として各種野菜を栽培してみたが、「これほど手応えを感じる野菜はなかった」と言つう。

北海道から九州まで、全国で生産されるアスパラガス。中でも「太く、柔らかく、美味しい」と評判なのが、新発田で栽培されるアスパラガスだ。阿部信夫さんは語る。「飯豊連峰を源とする加治川の水が新発田市を有数の穀倉地へと育てあげました。この肥沃な大地の一角にアスパラガス生産団地の道賀地区があります」

肥沃な地に希望の萌芽

